



【学校教育目標】

笑顔いっぱい

# Treasure Island



～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛

## 高島幼稚園 年長さんが来校しました！

6月16日（金）、高島幼稚園の年長組、さん・さんが、2年生 さんとの交流学习のため来校しました。

さんは、国語科学習で練習してきた「スイミー」の音読劇で2人を楽しませていましたが、途中から、さん、さんも音読劇に加わり、パワーアップした「スイミー」を3人で演じる姿が見られました。また、その後さんの案内で校内を探検したり、みんなで昼食を食べたりと、とても充実した交流学习となったようです。

スイミーの音読劇は、3人の他にも幼稚園の園児を加え、6月29日（木）の高島幼稚園教育週間交流保育（10:00～11:00）にて披露する予定です。乞うご期待！



## やっぱり授業は楽しいです！

高島小中学校の一番の特徴は、皆様ご存知のとおり極小規模校だということです。一見この特徴はマイナスに受け取られることがありますが、子どもたちを見る限り、私はそうは思いません。優しく素直で、何事にも一生懸命な子どもたちに育ってくれています。

小規模ということで、小学3・4年生、5・6年生は複式学級です。複式学級では、内容が違う2学年の授業を同時に行わなければなりません。授業者が学年を行き来する「わたり」や学習過程の時間を違える「ずらし」といったテクニックを駆使しながら授業を成り立たせます。実は宇土は今まで複式学級での授業経験がありません。そこで、3・4年生担任の田上先生にお願いして、算数の授業をさせてもらうことにしました。

3・4年生ともに「考える力をのばそう」という目標で、内容（問題）が違う学習でしたが、全員が図を使い、友達と話し合いながら熱心に学んでくれました。（高島の子どもたちは、本当に学ぶ意欲が高いと思います。）

校長となり、授業を行う機会は激減してしまいましたが、私が尊敬する先輩教師からいただいた「教師は授業で勝負する！」という言葉を、あらためて思い起こしました。

子どもたちが熱く学べる学習を、この極小規模校だからこそできる教育を、日々、全職員で考えていきます。

